

令和6年度新座市幼保小連携推進事業

# 交流実践報告集

## つなげよう 家庭の力を 学校へ

テーマ「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

- 重点目標
- ①年間を見通した計画的な交流活動の実施  
(意図的に設定した内容による複数回の交流)
  - ②共通理解・共通行動(相互訪問、職員交流)
  - ③引継ぎの充実(小学校への引継ぎの仕方)
  - ④「保護者への啓発」(リーフレットの活用等)



新座市教育委員会



# あいさつ

新座市教育委員会教育長

金子 廣志

幼児教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものであり、全ての子供が家庭や地域の状況に関わらず、質の高い学びを公平に享受でき、その後の学びへとスムーズに接続できるようにすることが求められています。特に、幼児期および幼保小接続期における教育の充実が重要であり、幼稚園教育要領総則および小学校学習指導要領総則にも明記されているとおり、子どもの豊かな学びを実現するためには、幼児期に育んだ資質・能力を基礎として、小学校以降において「主体的、対話的で深い学び」を継続していくことが必要です。

このような中、各園、各学校におかれましては、連携の重要性を理解し、交流活動の推進やアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの作成・共有を進めていただくことで、幼保小の連携をさらに充実させていただいていることに、心から感謝申し上げます。

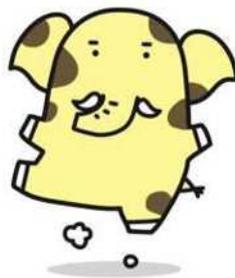
現在、文部科学省では、学びや生活の基盤を支える幼児期からの教育を充実させることを目的とした「幼児教育スタートプラン」を推進しています。このプランでは、施設類型や地域、家庭の環境を問わず、全ての子供に対して格差なく質の高い学びを保障することを目指しています。また、その一環として、「幼保小の架け橋プログラム」が開発・改善されており、モデル地域における検証などを通じて、全ての子供たちの多様性にも配慮した質の高いカリキュラムが提供されるよう努めています。

「幼保小架け橋プログラム」が目指す方向性として、幼保小が協働して共通の視点を持ち、教育課程や指導計画を具現化していくことが重要であり、それが子供たちの持続可能な学びを支える基盤となります。本市でも、市内の幼稚園・保育園・小学校の連携を一層確かなものとし、協働による保育・教育を推進することが、これからますます重要になると考えます。

最後になりましたが、本冊子の作成にあたり、各幼稚園長、各保育園長、各小学校長をはじめ多くの関係者の皆様に御協力いただきましたことに、心より深く感謝申し上げます。あいさつといたします。

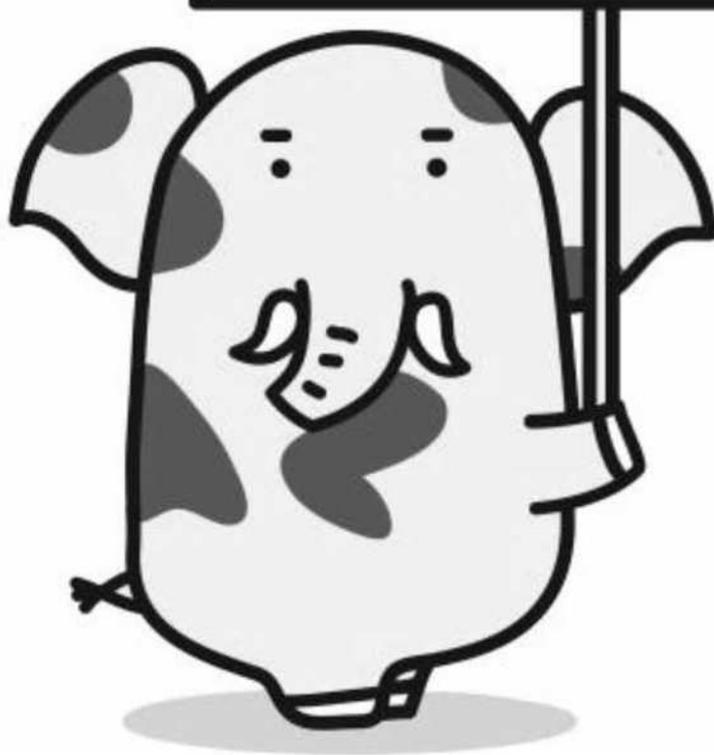
## 目 次

1	新座市教育委員会教育長あいさつ	・・・	1
2	令和6年度新座市幼保小連携推進事業 年間活動概要	・・・	3
3	令和6年度新座市幼保小連携推進事業 成果と課題	・・・	6
4	新座市幼保小連携推進協議会開催要綱	・・・	8
5	令和6年度新座市幼保小連携推進協議会役員名簿	・・・	10
6	令和6年度交流研修会（ブロック別研修会） ＜小学校、幼稚園、保育園の組み合わせ＞	・・・	11
7	令和6年度新座市幼保小連携推進事業 交流実践報告 （各ブロックからの令和6年度新座市幼保小連携推進事業報告書）	・・・	12



# 年間活動概要

つなげよう 家庭の力を 学校へ



## 令和6年度の推進事業計画

テーマ 「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

### 重点目標

- ①年間を見通した計画的な交流活動の実施
  - ・意図的に設定した内容による複数回の交流
  - ・児童数、園児数等、実態に応じた交流の仕方の工夫
  - ・小学校教育課程全体においての、計画的な交流の実施(教科、学年の検討)
- ②共通理解・共通行動
  - ・スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの共有と活用
  - ・小学校、園の施設や生活の様子の見学
  - ・学校だより、園だより等の共有と活用
- ③引き継ぎの充実
  - ・入学のしおりを園に送る。
  - ・計画的な情報交換会の実施
- ④「保護者への啓発」
  - ・リーフレットの活用等

交流実施期間 令和6年7月～令和7年1月

### 令和6年度 年間計画

<p>&lt;役員会&gt; 令和6年7月3日(水) 午後3時30分～ 参集会議 &lt;全体会&gt; 令和6年7月8日(月) 午後3時30分～ Google meetを活用した オンライン会議</p>	<p>新座市幼保小連携推進協議会役員会 新役員の選出、昨年度のふりかえり、 本年度のテーマ、年間計画の作成</p> <hr/> <p>新座市幼保小連携推進協議会 第1回全体会 参加者: 保育園長・幼稚園長・小学校長 (関係職員各園1名・各学校2名)</p> <p>(1) 役員紹介 (2) 今年度の研修テーマ (3) 研修内容 ・ブロック別交流計画 ・情報交換など</p>
<p>令和6年7月 ～令和7年1月</p>	<p>幼保小の連携にかかるブロック別交流研修会 ※1月までに終了し、2月事業報告書提出。 第2回全体会でブロックの成果と課題を協議する。</p>

令和7年2月 午後3時30分～ 会場:オンライン会議	新座市幼保小連携推進協議会 第2回全体会 参加者:保育園長・幼稚園長・小学校長 (関係職員各園1名・各学校2名) (1) 実践報告 ※別紙参照 (2) 今年度の成果と課題 (3) 情報交換など
----------------------------------	---

【学校公開日】 \*小学校(運動会)

令和6年10月26日(土)

新座市幼保小連携推進協議会第2回全体会での実践報告会について

令和6年7月8日

1 報告者 各小学校ブロック代表者

2 報告者割当表(R5～3か4ブロック毎)

ブロック名	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
大和田小学校			※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため 実施なし	※実施なし	※新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの同時流行を懸念し書面開催のため実施なし	○					
西堀小学校						○					
片山小学校						○					
第四小学校									○		
八石小学校									○		
東北小学校									○		
野火止小学校	○										○
野寺小学校	○										○
池田小学校	○										○
新堀小学校	○										
東野小学校	○										
栄小学校	○										
石神小学校		○									
新開小学校		○									
栗原小学校		○									
陣屋小学校		○									
新座小学校		○									

3 報告内容

(1) 今年度における取組(各ブロック5～10分 質疑応答含む)

- ・重点目標の何に力を入れて取り組み、どのような成果があったか。
- ・他のブロックに紹介したい取組
- ・今年度の課題となっていること
- ・指導要録、保育要録の活用と引継ぎ内容等

(2) 発表資料は、各ブロックで用意する。

※実践報告会で提示する発表資料は、事務局に1週間前までにご提出ください。

4 その他

「新座市幼保小連携推進協議会第1回全体会」で打ち合せを行う。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業 成果と課題

### 【令和6年度 研修テーマ】

**テーマ** 「幼児期から児童期における連続した指導・支援のあり方」

#### **重点目標**

- ①年間を見通した計画的な交流活動の実施
  - ・意図的に設定した内容による複数回の交流
  - ・児童数、園児数等、実態に応じた交流の仕方の工夫
  - ・小学校教育課程全体においての、計画的な交流の実施(教科、学年の検討)
- ②共通理解・共通行動
  - ・スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの共有と活用
  - ・小学校、園の施設や生活の様子の見学
  - ・学校だより、園だより等の共有と活用
- ③引き継ぎの充実
  - ・入学のしおりを園に送る。
  - ・計画的な情報交換会の実施
- ④「保護者への啓発」
  - ・リーフレットの活用等

### 1 実践内容（丸数字は重点目標）

- ①年間を見通した計画的な交流活動の実施について
  - ・幼保小交流会  
(校内見学、ランドセル体験、タブレット体験、校帽体験、学校クイズ  
あきのおもちゃランド・けん玉遊び等児童が企画した遊びを園児が体験 など)
  - ・各園の園児へのメッセージ動画の作成
  - ・手作りのプレゼント（メダルなど）
- ②共通理解・共通行動について
  - ・学年だより、園だよりの共有
  - ・幼稚園、保育園見学
  - ・情報交換会（交流方法の検討会、園児・児童の実態の共有 など）
- ③引き継ぎの充実について
  - ・アプローチプログラム、スタートカリキュラムの作成・活用と情報共有
  - ・情報交換会等における引継ぎの充実（園児の実態・課題の共有 など）
- ④「保護者への啓発」
  - ・入学準備説明会の充実
  - ・「3つのめばえ」「5歳児保護者向けリーフレット」等の配布と活用

## 2 成果と課題

### ○成 果

- ・ 幼児教育施設と小学校間での連携が進み、園児の入学準備がスムーズに進行した。
- ・ 園児が小学校での生活に対する期待や安心感を持てるようになった
- ・ 児童が上級生としての自覚を持ち、責任感が育成された。
- ・ 保護者からも好意的な反応が多く、小学校への期待感が深まった。

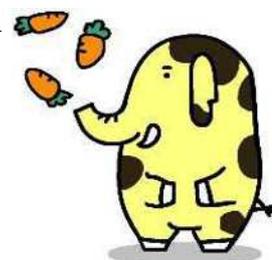
### ●課 題

- ・ 初めての体験や交流に緊張する子どもたちへの支援
- ・ インフルエンザやその他感染症による予定の変更や日程調整。
- ・ さらなる情報共有の場を設け、教員同士の連携の強化。
- ・ 交流機会や質問時間を増やし、園児が小学校生活により親しみを感じられるような工夫。

### 【来年度に向けて】

#### ◆交流活動のさらなる充実

- ・ 意図的に設定した内容による複数回の交流
- ・ 児童数、園児数等、実態に応じた交流の仕方の工夫
- ・ 小学校教育課程全体においての、計画的な交流の実施（教科、学年の検討）



#### ◆共通理解・共通行動

- ・ スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの共有と活用
- ・ 小学校、園の施設や生活の様子の見学
- ・ 授業や行事等における相互参観
- ・ 学校だより、園だより等の共有と活用

#### ◆引き継ぎの充実

- ・ 入学のしおりを園に送る。
- ・ 計画的な情報交換会の実施

#### ◆その他

- ・ 保護者への啓発（リーフレットの活用、園児保護者に対する小学校ホームページの紹介等から連携事業について情報提供）
- ・ 教職員間交流の充実



# 新座市幼保小連携推進協議会開催要綱

(平成17年8月2日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 子どもたちの健やかな成長を目指して、幼稚園、保育園、小学校及び教育委員会が協力し、相互交流を通して理解を深め、幼児教育と児童教育の緊密な連携を図るため、意見又は助言を求める新座市幼保小連携推進協議会（以下「協議会」という。）を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 協議会において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

- (1) 小学校、幼稚園及び保育園間の交流・連携に関すること。
- (2) 小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士間の交流・連携に関すること。
- (3) 小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士の資質向上を図る研修会の実施に関すること。
- (4) 就学前の保護者向け資料等の作成及び提供に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の運営に必要な事項に関すること。

(参加者)

第3条 教育長は、別表に定める者のうちから、協議会への参加を求めるものとする。

2 前項の場合において、教育長は、原則として、同一の者に継続して協議会への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 協議会の参加者の中から互選により会議を進行するための座長を定めるものとする。

2 教育長は、必要があると認めるときは、協議会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料を求めることができる。

(開催期間)

第5条 協議会の開催期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、学校教育部教育支援課において処理する。

(施行の細目)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成17年8月2日から実施する。

附 則

この要綱は、平成19年4月19日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月30日から実施する。

附 則

この要綱は、平成23年5月18日から実施する。

附 則

この要綱は、平成25年5月7日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表

新座市幼保小連携推進協議会参加者

1	公立小学校 校長
2	私立幼稚園 園長
3	公立及び法人等保育園 園長
4	こども未来部保育課長
5	学校教育部長

# 令和6年度 新座市幼保小連携推進協議会役員名簿

	学校名	役 職	名 前
座長	野火止小学校	校 長	丹代 円
	十文字女子大附属幼稚園	園 長	竹迫 久美子
	大和田しらかば幼稚園	園 長	藤巻 和司
	かたやま幼稚園	園 長	中野 明子
	第一新座幼稚園	園 長	竹内 勘次
	第二保育園	園 長	川口 真弓
	かりやなかよし保育園	園 長	阿部 智恵子
	こども未来部	保育課長	遠藤 達雄
	教育委員会学校教育部	部 長	杉原 浩二

事務局	教育委員会学校教育部	参事兼教育支援課長	山崎 孝雄
	教育委員会学校教育部	教育支援課副課長	吉田 泰生
	教育委員会学校教育部	教育支援課指導主事	大下 将孝

令和6年度交流ブロック

<小学校、幼稚園、保育園の組み合わせ> (案)

ブロック番号	学校名	幼稚園	保育園
1	大和田小学校	なみきの幼稚園	ふえありーている保育園 みどりの丘の保育園 音羽の森保育園
2	西堀小学校		西堀保育園
3	片山小学校	美鈴幼稚園	みき保育園
4	第四小学校		まきば第二保育園 妙音沢もみじ保育園 新座どろんこ保育園
5	八石小学校	片山幼稚園	横田保育園
6	東北小学校	かきの木幼稚園	北野の森保育園
7	野火止小学校	十文字女子大附属幼稚園	すこやか保育園 野火止保育園
8	野寺小学校	片山幼稚園	第二保育園 栗原保育園 元気キッズ新座栗原園
9	池田小学校		栄保育園 元気キッズ新座池田園
10	新堀小学校	こぼとの森幼稚園	光保育園 新堀保育園
11	東野小学校	わか のび幼稚園	第一保育園 すぎのこ保育園 まなびぐら新座保育園
12	栄小学校		竹の子保育園
13	石神小学校		まきば保育園 アヤ保育園 光第二保育園 まこと保育園 かりやなかよし保育園
14	新開小学校	第一新座幼稚園 大和田しらかば幼稚園	北野保育園
15	栗原小学校	明彩幼稚園	けやきの森保育園栗原園 けやきの森保育園栗原第二 はなにこマロン保育園
16	陣屋小学校		白梅保育園、 白梅第二保育園 キッド・スイ新座保育園
17	新座小学校	第二新座幼稚園	新座保育園 山びこ保育園

令和6年度幼保小連携推進事業

# 交流実践報告



<第1ブロック>

新座市立大和田小学校

なみきの幼稚園

みどりの丘の保育園

ふえありーている保育園

音羽の森新座保育園

1 活動名

- (1) 相互訪問、職員交流
- (2) なかよし集会
- (3) 保護者への啓発

2 活動内容

(1) 相互訪問、職員交流

- ・学年便り、園便りの共有

毎月お便りを渡して情報を共有した。今年からメールで送付することとなったため、学校便りも併せて送付し、より多くの情報を共有することができた。

- ・保育見学 日時 8月27日(火)

各園には15時頃訪問させていただいた。ちょうどお昼寝から起きた時間帯だったため、園児が自分で布団を片づけて、おやつを準備している様子を見学することができた。学校の先生に良いところを見せようと、苦手なおやつも頑張ってお食べ、完食したお皿を見せてくれたのがほほえましかった。またその後の自由遊びでは、絵本を上手に読む姿や得意なことを教えようとする姿が見られた。さらに、各園と卒園した児童やこれから入学する予定の児童の情報共有をした。

(2) なかよし集会

- ・日時 12月4日(水) 10:35~11:45

- ・場所 大和田小学校 体育館 1学年各教室など

- ・交流内容

① 始めの会

1年生が司会を務めて会の説明をした後、音楽発表会で歌った「うちゅうじんにあえたら」を発表し、歓迎した。その後1年生と園児でペアを作り、挨拶や自己紹介をして手をつなぎながら移動した。

② 学校探検

ペアで手をつないで階段を上って校内の特別教室(音楽室、図書室)などを回り、学校探検をした。3階にある通称‘光の廊下’から校庭が見えた時、とても嬉しそうな様子であった。他学年が静かに学習している姿を見て、お兄さん、お姉さんはすごいと言っている園児もいた。

③ 各教室で交流

1年生の教室で席に座り、話の聞き方や鉛筆の持ち方を学んだり、な



ぞりプリントで実際になぞったりするなどの学習体験をした。学習体験後、ランドセルや校帽を身に付けて、小学生気分を味わった。余った時間で、学校の行事や給食の話など学校のことについて教え、交流をした。1年生からも「すごいね」「上手だね」と声をかけられ、満足している様子であった。

#### ④ 終わりの会

再び体育館に集まり、1年生が司会進行を行った。お互いに感謝の気持ちを伝えてお別れをした。‘さんぽ’の曲に合わせて手拍子を行うことで、よりよい見送りができた。

#### ⑤ その他

なかよし集会当日を迎えるに当たって、1年生にはまず、園児の気持ちを想像させ、園児にしてあげたいことを考えさせた。「校歌を紹介したい」「学校の楽しさを教えてあげたい」「優しく話しかけて仲良くなりしたい」などの意見が出された。そこで学級会を開き、やることを決定させた。自分たちのなかよし集会であるという意識をもたせることで、よりよい行事となった。



### (3) 保護者への啓発

入学のしおりを送り、入学準備について園と共有し、活用していただく。

## 3 交流の成果と課題

### ○成果

- ・1年生担任が各幼稚園・保育園へ赴き、園児の様子を見学したり、なかよし集会ではどんな活動を希望しているかを確認したりすることができた。夏休み中に伺うことで、ゆとりをもって話し合うことができた。また1年生の成長した様子を伝えることができた。
- ・1年生は年下の子と接することで、来年度上級生になるという自覚が高まる良い機会となった。時間が余ってしまった時に「好きな食べ物は何?」「保育園は楽しい?」など園児が答えやすい話をして、上手に交流をすることができた。生活科の学習で学んだことを実践することができた。

### ○課題

- ・多くの児童が意欲的に活動することができた。しかしながら、初めて会う人や初めての体験が苦手な児童がおり、うまく活動できない場面があった。どの児童にも「やってよかった」と思わせる工夫ある指導をしていく必要がある。

# 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

## <第2ブロック>

新座市立西堀小学校 西堀保育園

### 1 活動名

- (1) 西堀小ブロック幼・保・小連絡会
- (2) 交流会（表現の発表会及びレクリエーション）
- (3) 園児の学校見学

### 2 活動内容

- (1) 西堀小ブロック幼・保・小連絡会

#### ○交流会の内容検討

- ・交流会で行う活動内容について検討した。
- ・園児や児童の実態について情報交換をした。

#### ○次年度以降の計画立案

- ・1年間の活動内容を振り返り、次年度以降に引き継ぐべきことを検討した。
- ・年間指導計画をすり合わせ、次年度以降の活動時期や活動内容を検討した。

- (2) 交流会（表現の発表会及びレクリエーション）

#### ○西堀小学校で「西堀保育園のみんなと仲良くなろうの会」の実施

- ・西堀保育園6歳クラスの園児を招いた。

#### ① はじめの会・終わりの会（体育館）

はじめの会と終わりの会では、児童が司会を務めた。園児が聞き取りやすい話し方を練習し、円滑に進行をすることができた。

#### ② 園児や1年生による発表（体育館）

お互いに、保育園や小学校の行事で取り組んだ表現を発表した。園児と児童を対面で座らせ、発表を楽しむことや称賛しあうことができた。

#### ③ 仲間集め（体育館）

みんなで仲間集めをして楽しんだ。仲間集めでできたグループごとに自己紹介を行い、お互いのことを知ることができた。

#### ④ じゃんけん列車

みんなが知っている遊びでとても盛り上がった。最後に全員の列車で円をつくり、一体感を感じるすることができた。

### (3) 園児の学校見学

○西堀小学校で「西堀保育園のみんなと仲良くなろうの会」の実施

・西堀保育園6歳クラスの園児を招いた。

#### ① ランドセル背負い体験（校内）

園児がランドセルを背負う手伝いを児童がしており、成長を感じた。ランドセルを背負った園児とランドセルを貸した児童と一緒に手をつなぎ、歌に合わせて体育館内を歩いた。

#### ② 学校体験

グループに分かれて、校内を探検した。児童は、園児たちを誘導して校内をまわるため、いつも以上に強い使命感と責任感をもって、学校探検に臨んでいた。

### 3 交流の成果と課題

○成果

#### 保育園

- ・小学校の様子を知ることができた。
- ・小学校に行くことが不安な園児もいたが、楽しい所ということがわかり、安心することができた。
- ・子ども同士、交流することで楽しみと期待が深まった。

#### 小学校

- ・園児とかかわることで、2年生への意識づけになるとともに、相手を楽しませる目的をもって取り組むことができた。
- ・児童が主体的に進行することができた。

○課題

- ・忙しい中でも先生同士、密に話をする時間があると良かった。



<第3ブロック>

新座市立片山小学校

みき保育園

美鈴幼稚園

1 活動名

- (1) 幼保小交流会
- (2) 園児へのメッセージ

2 活動内容

- (1) 幼保小交流会

日時：令和6年11月25日（月）10時20分～12時45分

みき保育園（14名）美鈴幼稚園（77名）

※インフルエンザ流行のため、2月12日（水）に延期。

場所：片山小学校1年生の教室、校内など

内容：

① 授業の体験（国語）

1年生教室で実際の机や椅子に座って授業を体験してもらった。国語の体験では、1年生の教科書の音読を聞かせ、クラス全員でしりとりをした。そのあと簡単ななぞり書きの体験をした。

しりとりのとき、1年生が小さい声で園児を助ける場面が見られたり、なぞり書きでは、優しく名前の書き方を教えたり、和やかな雰囲気の中で行うことができた。

② ランドセル体験

国語、算数などの教科書や筆箱などの学習道具を入れた状態でランドセルを背負ってもらった。帽子をかぶった園児もいて、1年生になった気持ちを体験し、嬉しそうに、教室内を歩いていた。1年生は、優しく背負う手伝いをしていた。

③ タブレット体験

実際にタブレットに触れて動かしてみる活動をした。ロイロノートを使って、ペアの児童が教えながらお絵描きを行った。



#### ④ メダルの作成、プレゼント

片山小学校キャラクター「かたち」に色を塗り、裏面にメッセージを書き、一人一人に交流の最後にごんぱったプレゼントとして渡した。1年生の児童は、来年度、下の学年が来ることを理解し、自身の成長を感じることもできた。

#### ⑤ 歌のプレゼント

「となりのトトロ」を合唱した。保育園や幼稚園でも歌ったり、聴いたりしたことがある「となりのトトロ」を透明な声を意識してうたった。園児のみなさんも、真剣な様子で聴いてくれた。

#### ⑥ 給食体験

給食を食べてもらう体験も実施した。

準備や配膳、片付けなどは1年生が行った。

1年生でも最初は難しかった牛乳パックを開く作業を教えてあげる姿が印象的だった。校外学習のために空いていた4年生の教室を借りて、園児たちには実際に給食を食べる体験をもらった。片山小学校のキャラクターの描かれた、ランチョンマットは、ぬりえできるよう、お土産に持って帰ってもらった。



### (3) 園児へのメッセージ動画

3学期に、各園の園児へのメッセージ動画の作成を予定している。

## 3 交流の成果と課題

### ○成果

- ・小学校の中ではお世話をされることの多い1年生だが、交流会に向けて、たくさんお世話をしてあげたい気持ちを高め、当日は、優しく、丁寧に接していた。頼もしい1年生の姿をたくさん見ることができた。
- ・色々な体験ができ、子どもも教師も大満足な交流会だった。
- ・学校の中を見回れたことで、園児も小学校がどんなところか分かり不安が減った。

### ○課題

- ・給食交流は、小学校の校外学習の日程によるので、日程調整が難しかった。
- ・予期せぬ感染症流行によって給食を準備したが提供できず残念だった。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第4ブロック>

新座市立第四小学校

妙音沢もみじ保育園 まきば第二保育園、新座どろんこ保育園

### 1 活動名

- (1) 第四小ブロック教職員情報交換会
- (2) 小学校から保育園への情報提供活動
- (3) 幼保小交流活動

### 2 活動内容

- (1) 第四小ブロック教職員情報交換会

① 日 時 令和6年7月25日(木) 14:00～15:00

② 開催方法 第四小学校 1年3組にて対面で開催

③ 内 容

- (1) 園児・児童の実態、課題の共有
- (2) 指導方法の共有
- (3) 3学期の交流会について
- (4) 保育園から小学校進学にあたっての情報共有について



など

- (2) 小学校から保育園への情報提供活動

① 第四小学校での1年生音楽発表会のご案内

② 第四小学校入学説明会のご案内



- (2) 幼保小交流活動

① 日 時 令和7年1月31日(金) 9:30～11:00

② 開催場所 新座市立第四小学校

③ 内 容 1年生と年長児との交流

#### ○校内めぐり

1年生が教室の説明をしながら、教員が説明をしながら、特別教室を中心に校内を歩いてまわった。

#### ○学校クイズ

1年生が事前に準備をした学校での学習や生活についてのクイズを出し、学校のことを説明した。



### ○まつぼっくりけん玉遊び

生活科で作成したまつぼっくりけん玉で、遊び方を教えるなどして交流した。

### ○つくえのひみつ

1年生が机の中のものを紹介したり、国語の教科書の読み聞かせを行ったりした。

### ○クロームブックをつかった学習紹介

クロームブックの操作を説明し、画面上でひらがなを書いたり、数を数える問題を解いたりした。



## 3 交流の成果と課題

### (1) 小学校

#### ① 成果

- ・1年生の音楽発表（授業参観）にどろんこ保育園の先生にご参観いただくことができた。1年生もとても喜んでいて、今後も継続したい。
- ・10月に開催された「南部地区幼・保・小連携推進協議会」に参加した際に、他の地区で実践されている「小学校入学説明会のご案内」を今年度初めて行うことができ、どろんこ保育園の先生2名にご参加いただいた。今後も継続したい。
- ・1年生との交流活動では、交流から生まれた気づきが多くあり、自信につながった。また、保育園児の入学を期待する気持ちも生まれ、自分の成長を感じていた。
- ・交流会の日程を早めに決定し、計画的に実施することができた。
- ・児童の情報交換の方法について相互理解を深めることができた。

#### ② 課題

- ・時期的には、インフルエンザの流行と重なり、心配なこともあった。

### (2) 保育園

#### ① 成果

- ・学校やクラスでどのような事をするのか等がよくわかり1年生になることに対する期待が高まった。
- ・活動はどれも楽しく、嬉しそうに参加していた。保育園にはないタブレットにとっても興味をもっていた。
- ・4月からの新生活に向けて、学校という施設を子供たちの目で実際に見る事ができたのは、とても良い経験になった。

#### ② 課題

- ・2回という限られた時間の中では、できる事が限られてくる。

〈第5ブロック〉新座市立八石小学校 片山幼稚園 横田保育園

1 活動名

- (1) 八石市（はちこくいち）への招待
- (2) 来年度入学児童（長子）の保護者授業参観
- (3) 小学生と園児の交流会
- (4) 小学校教員による園への訪問・見学
- (5) 園児の学校見学



2 活動内容

- (1) 八石市への招待（会場 八石小学校）

○6月14日

児童たちが考えたグループごとの遊びを、園児が体験

園児はグループごとに、いろいろなお店を回った。写真は、校長先生との交流の様子。

- (2) 来年度入学児童（長子）の保護者授業参観（会場 八石小学校1年生教室）

○11月12日 2校時 1組図工 2組国語

- (3) 小学生と園児の交流会（会場 八石小学校体育館）

○11月19日 片山幼稚園・横田保育園との交流会

① はじめの会

② 小学生によるワークショップ

机・お道具箱体験コーナー、ひらがな練習コーナー、肋木コーナー、ランドセルコーナー、八石体操コーナー、図工コーナー

③ おわりの会



はじめとおわりの会では、児童が司会を担当。児童が先導して、6つのワークショップを回った。



初めて図工コーナーを設置。造形遊びを一年生と一緒に体験した。

(4) 園児の学校見学 (会場 八石小学校)

○1月28日

- ① はじめの会
- ② 校舎見学 (それぞれの場所で小学生による説明つき)  
靴箱、1年生の教室、給食室、トイレ、保健室、職員室、図書室、  
図工室、英会話ルーム、音楽室
- ③ おわりの会



一年生が先導し、校内を案内。上級生の授業の様子なども見学。



児童が授業の内容や、各教室の様子を紹介。

(5) 小学校教員による園への訪問・見学 (会場 片山幼稚園、横田保育園)

○2月4日と2月10日の2日間にわたり、小学校教員3名が幼稚園、保育園を訪問

- ①園児との交流
- ②活動の見学



自分で行動を決めたり、お楽しみ会の企画をしたり、主体性を育む取り組みを行っている。

3 成果と課題

- 交流を重ねたことで、園児が楽しみで前向きな気持ちをもって参加できた。
- 一年生が引っ張る姿をみて、園児の1年生への憧れのまなざしが増した。
- 昨年度の反省を受け、片山幼稚園と横田保育園の交流日を同じ日に設定できた。

△八石小学校入学グループ(両園混合グループ)を設定したが、子ども同士の交流がなく、顔を覚えられたか分からない。

→グループ内で交流できる仕組みや、時間があるとよい。

第6ブロック 新座市立東北小学校  
かきの木幼稚園  
北野の森保育園

1 活動名 幼保小交流会

2 活動内容

(1) 幼稚園・保育園見学

日 時：10月10日（木）北野の森保育園の見学（本校教員2名）  
10月11日（金）かきの木幼稚園の見学（本校教員2名）  
内 容：小学校教員が幼稚園・保育園を訪問し、園児の活動や園の施設を見学する。

(2) 小学校見学

日 時：11月19日（火）北野の森保育園（保育士2名）  
2月中旬（予定）かきの木幼稚園（教諭2名）  
内 容：保育士・幼稚園教員が小学校を訪問し、休み時間の過ごし方や学習の様子を見学する。

(3) 幼保小交流会

日 時：11月21日（木）  
場 所：東北小学校1年の教室、校内  
交流学年：東北小学校1年生（131名）  
かきの木幼稚園（40名）  
北野の森保育園（20名）  
内 容：①全体会（顔合わせ・先生の話・校歌披露）  
②1年生と園児の交流  
（ランドセル体験、鉛筆の持ち方、線をかき練習）  
③教員による校内案内



### 3 活動の成果と課題

#### (1) 小学校

##### ① 成果

- (ア) 幼保小交流会では、園児と関わることで、お兄さんお姉さんとしての自覚をもって活動することができた。
- (イ) 「園児が安心して入学するために、なにができるか」という視点で、各クラスでの準備を意欲的に頑張っていた。

##### ② 課題

- (ア) 体育館での交流は時間の関係上歌のみにしたが、園児と小学生が遊ぶような交流をするのも良いと思う。
- (イ) 夏季休業中に保育園や幼稚園に出向くと、スケジュール調整がしやすい。

#### (2) 幼稚園・保育園

##### ① 成果

- (ア) 実際に教室に言ったり、小学校の探検ができたりして、子供達が就学に期待を抱いていた。家でも交流の話をしていたと保護者からの話が多かった・
- (イ) 体験でとりくんだプリントの続きを園で行い、誇らしげだった。
- (ウ) 頼りになるお兄さん・お姉さんと関わることで、小学校に対する期待が持てたようだ。
- (エ) 子供たちはとても緊張していたが、園に戻るとどの子も「楽しかった！」と満面の笑みで話していた。
- (オ) ランドセルを背負ったり、書く体験をしたりできたことが嬉しかったようだ。
- (カ) 流れや時間配分がちょうどよかった。

##### ② 課題

- (ア) 園児も参加できる時間がもっとあると良い。
- (イ) もっと質問の時間があると良い。
- (ウ) 一度の交流ではなく、気軽に交流できる場を作ると、小学校への不安感を解消できる。
- (エ) 牛乳パックの畳み方や給食の流れを実際に経験できると良い。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

第7ブロック 新座市立野火止小学校  
十文字学園女子大附属幼稚園  
すこやか保育園  
野火止保育園

### 1 活動名

- (1) 幼稚園・保育園職員による授業参観
- (2) 幼保小交流会①「あきのおもちゃランド」
- (3) 幼保小交流会②「1年生体験・学校案内」

### 2 活動内容

- (1) 幼稚園・保育園職員による授業参観

日 時：7月8日（月）5時間目

内 容：幼稚園・保育園職員が小学校を訪問し、小学校の授業を参観する。

- (2) 幼保小交流会①「あきのおもちゃランド」

日 時：11月18日（木）3時間目

場 所：野火止小学校体育館

交流学年：野火止小学校1年生

十文字学園女子大附属幼稚園年長組

すこやか保育園年長組

野火止保育園年長組

内 容：①はじめの会

②1年生が作った秋のおもちゃを園児に遊んでもらう。

③終わりの会



(3) 幼保小交流会②「1年生体験・学校案内」

日時：2月7日（金）3時間目

場所：野火止小学校1年生の教室、校内

交流学年：野火止小学校1年生

十文字学園女子大附属幼稚園年長組

すこやか保育園年長組

野火止保育園年長組

内容：①学校案内

②1年生体験（ランドセルを背負う、線や字を書く）



3 交流の成果と課題

(1) 小学校

○成果

- ・幼保小交流会では、園児と関わることで、お兄さんお姉さんとしての自覚をもって活動することができた。
- ・園児を楽しませたいという気持ちが強く、準備の段階から意欲的に活動することができた。

●課題

- ・幼保小交流会①では、児童がブースで待ち、園児に来てもらう形にしたが、声掛けの有無などによって、交流に差ができてしまった。児童も動き回れるようにすると、もっと交流が活発に行われたかもしれない。

(2) 幼稚園・保育園

○成果

- ・1年生が優しくやり方を教えてくれたことで園児の緊張が和らいだ。
- ・交流の第1歩として「一緒に遊ぶ」ということは園児にとってよかった。交流後、おもちゃ作りに夢中になっていた。
- ・自分で説明する、自分の場所に居続ける、素早く整列するなど、1年生になるとこんなことができるようになることが、目に見えて分かってよかった。

●課題

- ・園児側から大勢の1年生の所へ向かうのは、苦手な子にとっては緊張してしまう。ブースごとは自由行動で戸惑っている子がいた。少人数で友達同士のような雰囲気的交流が行えるともっとよい。

<第8ブロック>

新座市立野寺小学校

片山幼稚園 第二保育園 栗原保育園 元気キッズ新座栗原園

1 活動名

- (1) 「野寺小学校へようこそ」の会 (幼保小交流会) 11月28日(木)  
(2) 学校のことを新しい一年生に知らせよう (動画作成)

2 活動内容

- (1) 「野寺小学校へようこそ」の会

○ 始めの会、終わりの会

・第1回ブロック協議会の中で園から「(2つの園との交流だけではなく)他の園との交流の場がほしい」というご意見があり、ブロック全ての園で顔を合わせる場を設けた。始めの会では、「〇〇園の人は手を挙げてください」と、園の紹介を入れた。終わりの会では、各園の代表園児に感想を述べてもらう機会を設けた。



・感想を述べた1年児童について、きちんと文で話せていて立派だったと園の先生からのご感想があった。

○ 秋のおもちゃで遊んでね

・生活科の学習として、公園などで集めてきたドングリなどを使ったおもちゃを、グループごとで児童がお店屋さんのように展開し、園児にお客さんとして遊んでもらった。園児も園ごとのグループで回っていたが、同じ空間に他の園児もおり、交流できる機会として設けた。



・手作りのおもちゃについて、楽しいおもちゃがたくさんあって、遊び方から丁寧に教えてくれて、園児が楽しく遊べたと園の先生からのご感想があった。

○ 学校生活を教えるよ

・メダル型のグループカード兼メッセージカードを児童が準備し、園児に対して「ようこそ」の気持ちを表現できるようにした。グループカードと兼用にすることで、自分の担当グループの園児という認識がもてるようにした。

- ・園児の名前を聞いたり児童が自己紹介をしたり、園児に質問をしたりして仲良くなろうとする、ペアでの時間を設けた。
- ・教室での体験に、園児が喜んでいたという園の先生からのご感想があった。

○ ランドセル体験

- ・ランドセルから荷物を机の引き出しに出させたり、背負ってみたりロッカーにしまったりという朝の支度の体験をした。



○ 字を書いてみよう体験

- ・児童が園児の名前を聞いてお手本を書き、鉛筆の持ち方を伝えたりしながら、園児が自分の名前を鉛筆で書く体験をした。
- ・普段文字に興味を示さなかった園児も、1年生に優しく促されて書く体験ができて良かったという園の先生からのご感想があった。

(2) 学校のことを新しい一年生に知らせよう (動画作成)

自分たちの1年前の気持ちを思い出し、入学する前に知っておいたら心配がなくなると思う内容を児童が考え、5分程度の短い動画を3本撮影して園に送った。

○ 日々の生活

- ・学校内の案内
- ・勉強って楽しいよ
- ・掃除の仕方
- ・下校の仕方



○ 道具の使い方

- ・机、名札、道具箱、タブレットなどの使い方

○ 給食

- ・準備、給食当番の仕方
- ・牛乳パックの開き方

3 活動を振り返って

- ・前年度までは、児童も園児も半分の人数に分けて交流していたので、小学校の児童100名、3つの園の園児120名を、同時に交流させる初めての取り組みだった。たくさんの人と交流できる利点と同時に、効率面などで課題もあった。
- ・3園の集合時刻と解散時刻の希望を取ると、45分間しか全体が活動できる時間がなく、タイトなスケジュールだった。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

新座市立池田小学校  
新座市栄保育園  
元気キッズ新座池田園

### 1 活動名

- (1) 小学校で1年生との交流会
- (2) 園児と5年生との交流会



### 2 活動内容

#### (1) 園児との交流会①

日時：12月11日（月）

場所：各保育園、池田小学校

内容：うた

ダンス

じゃんけん列車

くだものがりゲーム

手紙交換



#### (1) 園児との交流会②

日時：1月24日（金）

場所：各保育園、池田小学校

内容：校内探検

呼名体験

タブレットを使用しての授業体験

ランドセル体験



※今年度から園児向けアンケートを実施した。

#### (2) 園児と5年生の交流会（予定）

日時：2月5日（水）

場所：各保育園、池田小学校

内容：読み聞かせ

お絵描きクイズ

みんなでまねっこ

だるまさんが転んだ

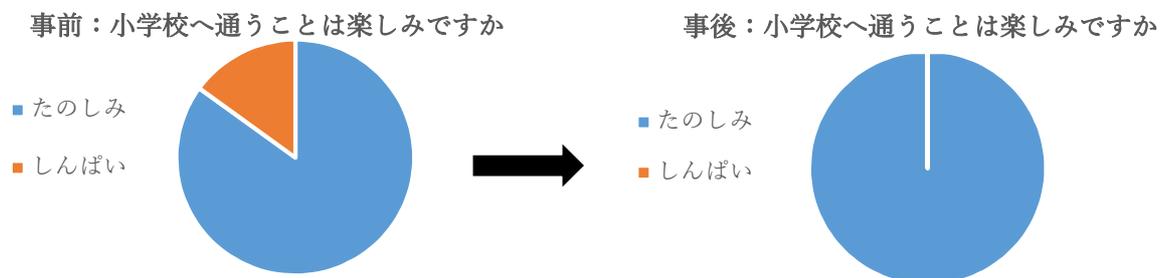


### 3 交流の成果と課題

#### (1) 小学校

##### ○成果

- ・昨年度の課題になっていた校内探検や模擬授業、ランドセル体験などを今回は、実践することができ具体的イメージを園児にもたせることができた。児童も園児をサポートする中で自分の成長に気付くことができた。
- ・アンケート結果では、「学校が心配」と答える児童が全て「学校が楽しみになった」と答える結果となった。体験を行うことが、何よりも効果的であったと分析している。
- ・タブレットを実際に使った授業をすることで、タブレットへの興味関心が高まった。



- ・年長さんを交流会で盛り上げるために工夫を考え、チケットを用意したり、花道や掲示物を用意したりすることができた。

##### △課題

- ・園同士（同級生）の仲を深める取り組みも行っていきたい。
- ・それぞれのカリキュラムを見ながら、教員・保育士がお互いに園児・児童の活動の様子を参観し、連携に必要なことを実際に確認したほうが良い。

#### (2) 保育園

##### ○成果

- ・実際に校内に入れたことで小学校の雰囲気を知ることができた。
- ・園に戻ってからも子供たちから「小学校、楽しかった。」「はやく小学生になりたい。」など小学校へ肯定的な声があがっていた。また、「もう一度やりたい。」という園児からの声にこたえて、もう一度園でレクを行った。
- ・校内探検をすることで保育園にはない教室や学校の広さを実感でき、小学校への期待が膨らんだ。
- ・心配だったタブレット学習が「楽しかった」と答える児童が多くいた。

##### △課題

- ・校内探検をじっくり行いたかった。
- ・個人情報の取り扱いを事前に把握し合う必要がある。
- ・入学に向けて、立ったまま靴を脱ぎ履きしたり服を着替えたりする必要があると感じた。

<第10ブロック>

新座市立新堀小学校

こぼとの森幼稚園 新堀保育園 光保育園

1 活動名

(1) 第1回交流会 令和6年11月27日

(2) 第2回交流会 令和7年2月26日 こぼとの森幼稚園  
27日 新堀保育園 光保育園

2 活動内容

(1) 第1回交流会 (令和6年11月27日)

おもちゃフェスティバル

- ・生活科で取り組んで作ったおもちゃをお店形式で招待し、一緒に遊んだ。
- ・1年生は店員として、園児たちへのふるまい方を考え、一つ上のお兄さんお姉さんとして優しく丁寧に接することができた。
- ・1組・2組・3組・的あてと4つのブースに分け、それぞれをローテーションで回るようにした。



(2) 第2回交流会 (令和7年2月26日、2月27日 実施予定)

ランドセル・学習体験

- ・実際の授業風景を見学したあと、鉛筆を持って線なぞりやひらがなを書く体験をしたり、ランドセルを背負う体験をしたりする。

3 交流会の成果と課題

新堀小学校

○成果 (第1回交流会)

- ・手作りのおもちゃで遊んでもらう活動を通して、作る段階から、下の年齢の子を意識することができた。

- ・作ったおもちゃで「どのように遊んでもらうか」「どのように説明すれば伝わるか」など、幼稚園や保育園の子たちの目線でもてなし方を考えることができた。
- ・当日は、一つ上の先輩として、声をかけたり、一緒にしてみたりなどの密な交流ができた。
- ・生活科の学習と重ねて実施することができた。

#### ○課題

- ・一緒に体を動かせるような交流があってもよかった。お店屋さん形式だと、「店員と客」といった限定的な関わりになってしまう。
- ・小学校・幼稚園・保育園それぞれの学校・園行事の関係で、日程を合わせるのが難しい（今年度の第2回交流会は都合で2月下旬になった）。

### こばとの森幼稚園

#### ○成果

- ・4つのグループにわかれて参加できたことで、遊ぶ範囲がわかりやすく、様々な遊びを体験できた。
- ・就学を迎える子供たちにとって、実際に学校に行き、一年生の子たちと過ごしたことで、学校をより身近に感じ、入学を楽しみにする気持ちが高まった。

#### ○課題

- ・幼稚園バスのピストン移動での参加となるため、1クラスだけ時間に間に合わないかった。ただ、遅れても丁寧に説明してくれたので、安心して参加できた。
- ・的あてを好む子供たちが多かったため、各グループに同じ遊びがあっても面白いと思った。

### 新堀保育園

#### ○成果

- ・園児たちは、はじめは緊張してあまり動けずだったが、小学生が優しく声をかけてくれたり、遊び方を教えてくれたりしたおかげで、すぐに場の雰囲気に慣れて楽しく遊ぶことができた。
- ・自然のどんぐりやまつぼっくりを使ったおもちゃが工夫されていてよかった。園児たちも「これ作りたい」と目を輝かせ、園に戻ってからの保育につながった。
- ・保育園に戻ってから、「次はいつ行くの？」と小学校が楽しいところという印象が残った様子だった。
- ・交流会をとおして、小学校への不安な気持ちが少し解消し、期待がふくらんだようで安心できたと、保護者から話があった。

#### ○課題

- ・園児からの質問コーナーのような時間があると、いろいろと小学校のことを知ることができるのではないかな。

### 光保育園

#### ○成果

- ・小学校は楽しいところだという印象がもてた。
- ・一年生との関わりがそれほど緊張せずもてた。
- ・卒園した子供たちの様子が垣間見え、現状が把握できた。

#### ○課題

- ・準備などで、小学校側の負担が大きいのではと感じた。ありがとうございました。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第11ブロック>

新座市立東野小学校

わかのび幼稚園 第一保育園 すぎのこ保育園 まなびぐら新座保育園

### 1 活動名

- (1) 1年生の体験をしよう
- (2) 1年生と一緒に遊ぼう

### 2 活動内容

- (1) 1年生の体験をしよう

- ・交流日時：令和6年11月18日（月）10：40～11：25  
令和6年11月22日（金）10：25～11：10
- ・交流場所：東野小学校 1年生各教室、学校内
- ・交流内容：①体験…ランドセルを背負う。プリントを使った運筆、色塗り。  
②探検…1年の教室から職員室まで、各部屋の案内をする。  
③質疑応答…年長児からの質問に、1年生が答える。  
「勉強は難しいですか。」「給食はおいしいですか。」「宿題はたくさんありますか。」「庭に動物はいますか。」「字はどうしたら上手に書けますか。」



- (2) 1年生と一緒に遊ぼう

- ・交流日時：令和7年1月24日（金）10：10～11：00  
令和7年1月28日（火）10：20～11：10
- ・交流場所：東野小学校 体育館
- ・交流内容：1年生が用意したお店で遊ぶ。（けん玉、魚釣り、的あてなど）



### 3 交流の成果と課題

#### (1) 小学校

##### ○成果

- ・年長児への接し方を考える中で、子供たちの上級生としての自覚を高めさせることができた。
- ・年長児たちが4月から小学生として入学してくることに、子供たちは期待をもつことができた。
- ・企画、準備、実施の流れを子供たちが意欲的に取り組むことができた。
- ・学期を分けて、2回交流会が実施できてよかった。
- ・質疑応答では、年長児の視点に沿った素朴な疑問に答えられてよかった。

##### ○課題

- ・小学校の日程、それぞれの園の滞在時間のすり合わせが難しい。
- ・保護者への授業参観日と同日に、幼稚園、保育園の先生方へも参観を提案したが、日程が合わせられなかった。

##### (対応策)

第1回の交流時に、交流していない他クラスの参観を提案し、自由に1年生の様子を見ていただいた。

#### (2) 幼稚園・保育園

##### ○成果

- ・1回目が教室、2回目が体育館での交流であったため、子供たちの学校に対してのイメージが湧き、小学校への期待を高めることができた。
- ・どちらの交流も、1年生や先生方が優しく接してくださったので、小学校が楽しみになったようだ。
- ・遊びを通して、自然な形で子供同士の交流ができてよかった。
- ・1年生の座って静かに話を聞く姿勢、大きな声で挨拶をする姿などに刺激を受け、小学校のお兄さん、お姉さんへの憧れを持つ様子も見られた。

##### ○課題

- ・1回目の交流会で、校庭、図書室や音楽室などの教室も見学ができたならよかった。
- ・せっかくの交流なので、全クラスの小学生と交流したかった。卒園児の顔が見たかった。

新座市立栄小学校  
たけのこ保育園

1 活動名

保育園・小学校の交流会

2 活動内容

(1) 日時 令和6年11月20日(水) 9:40~11:00

(2) 内容 ○校内見学

1年教室、図書室、保健室、図工室、音楽室、給食室、体育館

○1年生体験

机にすわる。なぞり書き・色塗りをする。ランドセルを背負う。

○(生活科で作ったもので)秋の遊び

マラカス、けん玉、どんぐり入れゲーム、どんぐりごま、合奏



校内の案内・説明



1年生体験



秋遊び・プレゼント



### 3 交流の成果と課題

#### (1) 小学校

##### ○成果

- ・1年生の児童が、保育園児に小学校のことを教えたり、会の進行をしたりして、成長を感じることができる行事となった。園児と接し、教えてあげながら活動することで、上級生になる自信をもつことができた。
- ・1年生なりに、どのようにすれば言いたいことが伝わるか、入学を楽しみに思ってもらうにはどうしたらよいかを考えるなど、交流の仕方を学ぶよい機会となった。
- ・安全に交流できるよう動線や場の工夫をした。園児と一緒に話したり、遊んだりすることで、生き生きと活動することができた。

##### ●課題

- ・1年生の担任と園の担任が互いに訪問して学ぶなど交流の機会を増やしていけるとよい。また、可能であれば、年間を通しての関わりがあると小学校の子供たちのさらなる自信と成長につながったり、園児の安心材料になったりすると考える。
- ・長期休業等を利用して、スタートカリキュラムの打ち合わせをする時間を確保していきたい。
- ・新生の保護者が授業を参観したり、入学についての情報を得たりできるような仕組み化が必要だと感じた。
- ・小学校は主にホームページで学校の様子等を公開しているが、園からの情報としておたよりが定期的にあるとよいと思った。

#### (2) 保育園

##### ○成果

- ・新しい取り組みとして、秋の遊び（生活科での学習）を一緒にしたことで園児にとって楽しい時間となった。園に帰ってからも、「やりたい！」という声が聞こえてきて先生方で作って一緒にやっていた。
- ・運動会で踊ったダンスを見ていて、卒園児の成長を感じられてよかった。
- ・ランドセルを背負うことや椅子に座ってなぞり書きなどの体験することで、小学校の雰囲気味わうことができた。園児も真剣に体験をしていた。

### 4 その他

- ・給食のことで、入学してからの準備の流れや分量の調整が円滑にいくよう配膳を園児が実際にやってみる日を設けたり、引継ぎの時に情報をしっかりと得たりしておきたい。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

### 〈第13ブロック〉

新座市立石神小学校

アヤ保育園 まきば保育園 まこと保育園 光第二保育園

かりやなかよし保育園

#### 1 活動名

「なかよし交流会」をしよう。

#### 2 活動内容

##### (1) はじめの会

- はじめのことば
- 教頭先生のお話
- 小学校 校歌披露
- グループの顔合わせ



##### (2) 体験学習①

- 1年生が作ったけん玉に絵を描く。



##### (3) 体験学習②

- ランドセルをしょって特別教室を見学する。



##### (4) 体験学習③

- プリントでえんぴつ書きの練習をする。

### 3 交流の成果と課題

#### (1) 小学校

##### ○ 成果

- ・ 小学校では1番下の学年で面倒をみてもらうことが多いので、自分たちが面倒をみてあげることがとても有意義であった。
- ・ 面倒を見てあげられるか不安な児童もいたが、自分なりに交流できていたのでよかった。
- ・ 2年生になって、1年生を迎える自覚を持たせることができた。
- ・ 小学校での子供たちの実態をみて頂くことができた。
- ・ 各保育園の引率の先生が3人以上だったので、各園を3つに分けたやり方はよかった。
- ・ 園児の歌の発表がよかった。

##### ○ 課題

- ・ 園児の持ち物の確認をしっかりとできるとよかった。
- ・ 最後に忘れ物がないかの確認もしっかりと行う。

#### (2) 保育園

##### ○ 成果

- ・ 実際に机やいすで授業体験ができ、使う道具も含めてとても興味をもて、見通しも持てた。
- ・ 就学に向けての不安や恐怖心、緊張感を持っていた園児が期待へと変わった。
- ・ 保育園では最上級生だが学校では下になり、分からないことがあってもお兄さんやお姉さん達が教えてくれる安心感を持てたと思った。又、こんな1年生になりたいと憧れていた。

##### ○ 課題

- ・ 交流会数を増やしたり、もっと情報交換ができたりするとよい。
- ・ 正しい姿勢で静かに話を聞く習慣を身に付けさせたい。
- ・ 年長児と1年生だと、お世話というより一緒に遊んでいる雰囲気、それはそれでよいが、5年生位で落ち着いて校内見学や製作などができる状況もよいかもしれない。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

新座市立新開小学校

大和田しらかば幼稚園 第一新座幼稚園 北野保育園

### 1. 活動名

(1) 新開小学校体験

### 2. 活動内容

(1) 新開小学校体験

○日時 ①令和6年11月27日 大和田しらかば幼稚園、北野保育園

②令和6年12月13日 第一新座幼稚園

○内容

#### ・タブレット体験

児童のタブレットを活用して、スクラッチアートというアプリでタブレットを触れさせた。どの園児も楽しそうに使っていた。1年生は園児の近くで補助をしたり、一緒に活動をしたりしていて、自ら交流しようとする姿が見られた。



#### ・学校探検

教室から始め、体育館、音楽室、理科室、保健室、図書室を回った。園児と児童は手を繋ぎ一緒に探検をおこなった。実際に教室や特別教室の中に入り、様々な教材を見たり、教室の大きさを感じたり、園児は興奮した様子だった。



#### ・ドングリごまのプレゼント

事前に準備してあったドングリごまを一つずつ

園児へプレゼントした。こまは封筒に入れ、封筒の表紙には学校の楽しいところを児童が各自で文にして書いている。自分たちが担当した園児に一声かけながら渡すことが出来ていた。



### 3. 交流の成果と課題

#### ○成果

- ・園児たちと交流することで、どのように接したらいいか、どうしたらわかりやすいかを自分たちで見つけて行動することが出来ていた。
- ・お兄さんお姉さんであることを自覚し、園児への声のかけ方を自分たちで考えながら接することが出来ていたため、児童たち自身の成長につながっていた。

#### ○課題

- ・あらかじめ新開小への入学である子だと分かれば、オリジナルの交流会が作れるのではないかと感じた  
ほかの学校に入学する子に関しては新開小学校のことしか知ることが出来ない。
- ・タブレット活動で時間を使いすぎてしまい、探検の時間に余裕がなかった。  
時間の調整や、児童たちがスムーズに行動できるように事前に周り方の確認をたくさん行う必要があった。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

<第15ブロック>

新座市立栗原小学校

明彩幼稚園 けやきの森保育園栗原園 けやきの森保育園栗原第二

はなにこマロン保育園

### 1 活動名

- (1) 園児の農園活動見学 (2) 小学校授業訪問 (3) 幼保小交流会  
(4) 情報交換会 (5) 学年便りの共有

### 2 活動内容

#### (1) 園児の農園活動見学

- ・日時 令和6年9月10日(火)

9時30分～10時

けやきの森保育園栗原園・第二の園児が栗原小学校農園での1年生の活動の様子を見学した。



#### (2) 小学校授業訪問及び第1回情報交換会

- ・日時 令和6年11月29日(金)

幼稚園・保育園の先生方が5校時の授業を参観した。

1組「算数」2組「外国語」

児童下校後、第1回情報交換会を行った。この時期に引継ぎが必要な児童についての話し合いや特別支援学級への進学を考えている園児について話し合いを行った。

#### (3) 幼保小交流会

- ・日時 令和6年12月5日(木) 9時15分～10時15分

けやきの森保育園栗原園(14名)

けやきの森保育園栗原第二(14名)

はなにこマロン保育園(6名)

令和6年12月10日(金) 10時30分～11時30分

明彩幼稚園(44名)

- ・場所 栗原小学校

- ・内容 1年生と園児がペアになって、下記の交流を行った。

##### ①教室での交流(◎は必ず行った活動内容)

##### ◎ランドセル体験

- ・実際に1年生が使っているランドセルを園児が背負い、朝の支度などの体験をさせてあげた。

##### ◎名前書き

- ・園児が用紙に自分の名前を書き、1年生はそれを補助した。

○1年生が考えた内容の交流

- ・お道具箱の紹介、読み聞かせ、折り紙、ぬり絵、クロムブックで制作物を見せるなど、ペアごとに1年生がリードして行った。

②校舎案内

◎食器体験

- ・給食食器セットを持ち、大きさや質感を体験した。

○図書室

- ・入学後、慣れ親しんでほしい場所の広さ、蔵書の多さを見て、園との違いを感じてもらった。

○1年生が考えた施設案内

- ・実際に1年生が使用している教室や紹介してあげたいものを自分たちで作成した計画書を基に時間を有効に使いながら案内した。



「実際に使っているランドセルだよ」



「校長室はこんな風になってるよ」



「授業でやったハーモニカを聞いてね」



「持ち方じょうずだね」



読み聞かせ、ランドセル体験・・・



「こうやって書くんだよ」

(4) 第2回情報交換会

2月下旬～3月上旬に、小学校教員が幼稚園・保育園に伺い、情報交換と引き継ぎを行う。

(5) 学年便りの共有

毎月出している学年便りを交流している園に送り、掲示してもらうことで、園児の保護者が小学校でどんなことをしているか知ってもらう機会とする。

### 3 交流の成果と課題

#### ○成果

- ・1年生の児童は、実際に自分たちが学習したことや経験をしたことを生かし、事前の準備や当日の交流などができ、園児を思いやる気持ちや上級生としての意識が高まった。
- ・園児は、1年生からいろいろなことを教えてもらったり、体験させてもらったりしたことで、小学校へ入学することへの安心感や期待につなげることができた。
- ・小学校授業訪問をしたことで幼稚園、保育園の先生方に、卒園後の成長した姿を昨年度よりもたくさん見ていただくことができた。
- ・情報交換会を増やしたことで、異校種の職員の交流にもつながった。

#### ○課題

- ・年間を通して、交流できる機会や時間が増えるとよい。
- ・小学校職員が、幼稚園・保育園を訪問し、園児の活動の様子を参観する機会があってもよいのではないか。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

新座市立陣屋小学校

白梅保育園 白梅第二保育園 キッドステイ新座保育園

### 1 活動名

(1) 幼保小交流会

### 2 活動内容

(1) 幼保小交流会

○日時 11月28日(木)

場所 陣屋小学校 体育館 各1年生教室 学校全体

○内容

三園の年長児童と陣屋小学校1年生が交流を行った。①始めの会 ②学校探検・教室での授業体験 ③終わりの会という流れで行った。小学校は2クラスなので、1年1組が学校探検しているときは1年2組は授業体験、1年1組が授業体験をしているときは1年2組は学校探検になるように配慮した。

学校探検…年長児と1年生がペアになり、校内を回る。地図を見て、ポイントで、シールを貼った。

授業体験…1年生の席に、年長児が座って、教科書を見せてもらったり、ランドセルを背負ったり、簡単なプリントに取り組んだりした。

始めの会では、1年生が歓迎の言葉を述べ、終わりの会では、年長児が本日の感想を発表した。



### 3 交流の成果と課題

#### ★小学校

##### ○成果

- ・準備の段階から、年長児との交流を大変楽しみにしており、当日も使命感をもち、張り切って取り組んでいた。交流会を通して、来年度上級生になるという自覚が高まった。
- ・自分が、上級生にしてもらったことを想起し、どんな接し方をしたらよいか考え、年長児に優しく親切に接することができた。

##### ○課題

- ・今年は、学級閉鎖等もなく、計画通りに実施することができたが、三園と学校の予定を合わせるのがかなり難しかった。

#### ★幼稚園・保育園

##### ○成果

- ・模擬授業体験をしたこと、学校探検でいろいろな教室を見学したことで、学ぶことの期待が膨らんだ。
- ・プリントをやったときに、花丸をしたことが園児に好評だった。
- ・交流会を通して、入学に向けての意識を明確にもつことができた。1年生の元気な姿や先生とのやりとりを見ることで、自分たちの入学後の姿を想像することができた。
- ・1年生がいろいろ気にかけてくれ案内してくれて、楽しそうだった。

##### ○課題

- ・体育館から教室に移動する際の歩くペースが速く、園児にはついていくのが大変だった。
- ・学校探検で、暗いところがこわい、シールのある場所を探すのが難しいという、園児の意見があった。マップがあるとよいのではないか。
- ・授業の様子も見学してみたい。

## 令和6年度 新座市幼保小連携推進事業報告

第17ブロック 新座市立新座小学校

第二新座幼稚園、新座保育園 山びこ保育園

### 1 活動名

- ① なかよし交流会「小学校体験」「学校探検」
- ② 園へ訪問会

### 2 活動内容

#### 【なかよし交流会】

- ① 実施日 令和6年11月13日（水） 新座小学校体育館、1年教室  
第1部：山びこ保育園（20名）新座保育園（20人）  
第2部：第二新座幼稚園（40名）

#### ② 交流内容

○ 始めの会、終わりの会（体育館）



#### ○ 小学校体験（1年教室）

1年教室で、「机と椅子を使ってみよう」「ランドセルを背負ってみよう」「なぞり書きをやってみよう」という小学校の体験を行った。1年生と園児がペアになり、1年生が教える形で実施した。1年生が手作りした「メッセージ付きメダル」をプレゼントした。



### ○学校探検

最後に、「図書室」「音楽室」「玄関・下駄箱」を見て回る学校探検を行った。廊下を歩く際には、他学年の授業の様子も見ることができた。



### 【園へ訪問会】

① 実施日 令和6年11月15日（金）山びこ保育園・新座保育園・第二新座幼稚園

### ② 交流内容

3つの園に、1年生がグループに分かれて、訪問をし、園児と一緒に遊んだり、園の中を紹介してもらったりして交流をした。



### 3 交流の成果と課題

#### (1) 小学校

##### ○成果

- ・自分が学んだ事を生かして、園児に優しく声をかけながら教えるができた。
- ・3園の園児に教えることで、大変さや難しさを感じながらも、2年生になる気持ちをもつ良い機会となった。

##### ○課題

- ・小学校体験は、3学期に行うと入学の時期とも近くなり、よりよい体験となった。また、生活科の学習とも関連づけて取り組むことができる。

#### (2) 幼稚園・保育園

##### ○成果

- ・小学校の様子を知ることができ、不安な気持ちが和らぎ、1年生になることへの楽しみな気持ちが高まった。

##### ○課題

- ・小学校と園児以外にも、他園の子ども達同士も関わる時間があると、より有意義なものとなる。
- ・2回の交流は良かったが、2学期と3学期など時期を分けても良かった。